2022年度(2023年3月期)第2四半期 決算説明会



2022.11.17

/ 目次

1. 2022年度 第2四半期業績		3.株主還元	
(1)決算ハイライト	… 4	(1)配当、自己株式取得	··· 21
(2)業績ハイライト(受注高・売上高)	5	(2)総還元額、ROE·EPS	22
(3)業績ハイライト(営業利益)	6		
(4)業績ハイライト(セグメント別状況)	7	4. トピックス	
(5)通期計画サマリー	9	(1)技能五輪国際大会で金メダルを獲得	··· 24
		(2) 事業を通じての脱炭素社会への貢献	··· 25
2. セグメント別取り組み		(3)木質バイオマスガス化発電	··· 26
(1)通信キャリア	··· 11		
(2)都市インフラ	··· 13		
(3)シテムソリューション	··· 16		
(4) 構造改革	··· 19		

1. 2022年度 第2四半期業績

(1)決算ハイライト

受注高、売上高ともに順調な進捗

モバイル投資抑制の影響等により営業減益

配当は51円と増配を継続(年間では102円を予定)

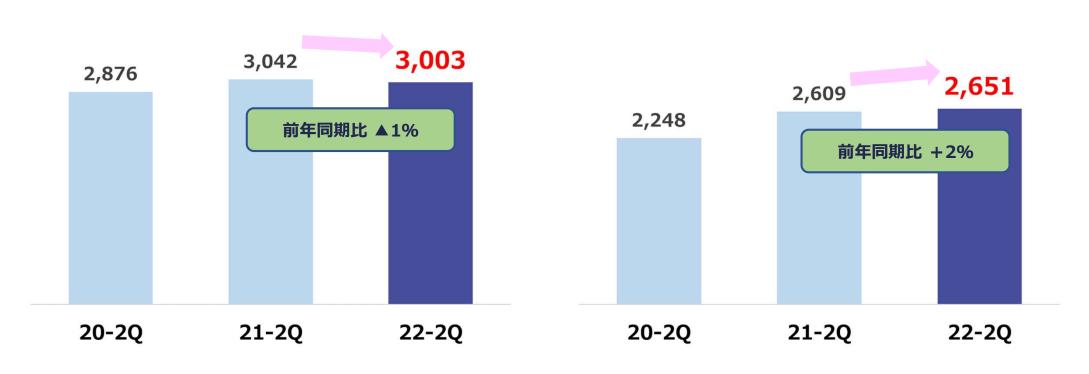
自己株式取得継続中、消却(700万株)も併せて実施

/ (2) 業績ハイライト(受注高・売上高)

受注高、売上高とも順調に進捗。売上高は過去最高を更新



(単位:億円)

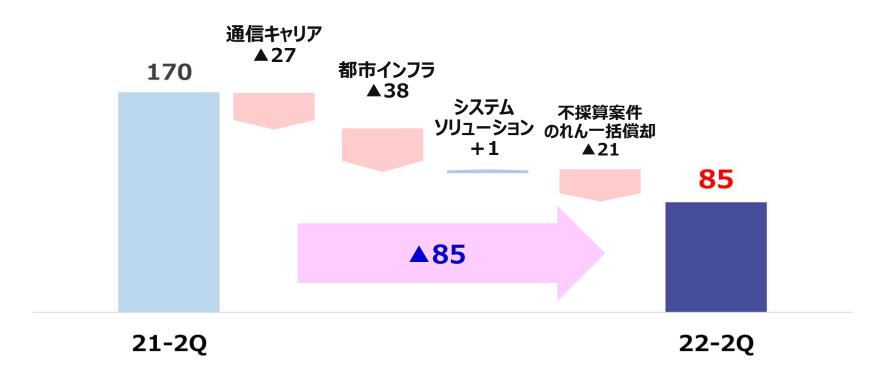


/ (3) 業績ハイライト(営業利益)

モバイルキャリアの投資抑制や、一過性の不採算案件の発生・のれん一括償却により減益

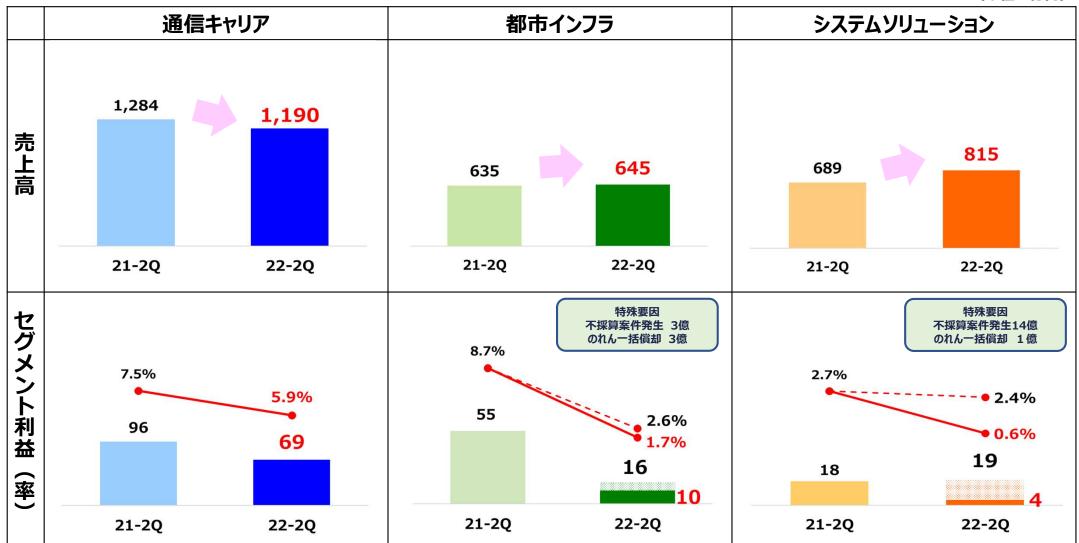
■ 営業利益

(単位:億円)



/ (4) 業績ハイライト(セグメント別状況)

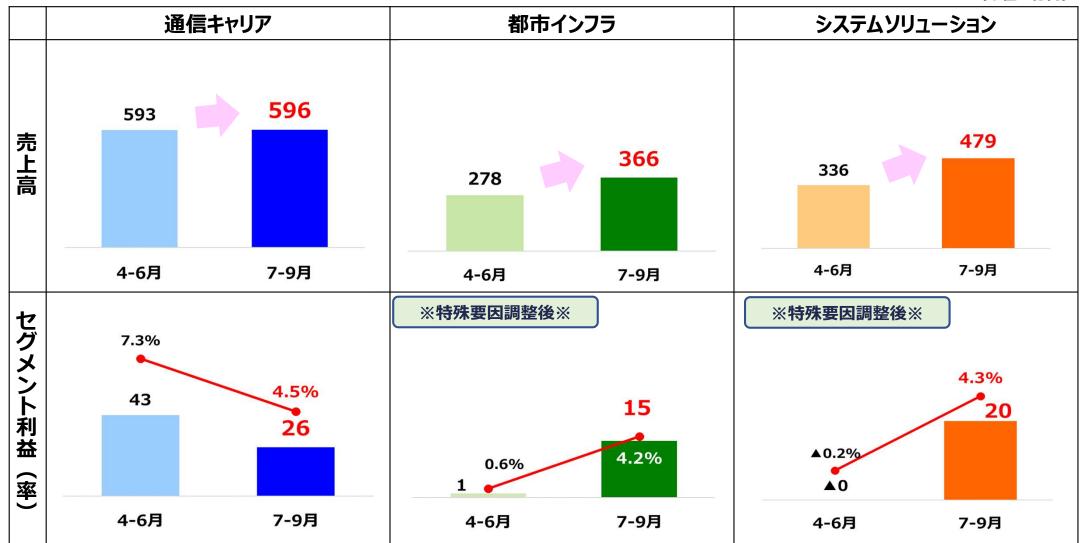
(単位:億円)



7

/ (4) 業績ハイライト(セグメント別状況) 3か月単位進捗

(単位:億円)



✓ (5) 通期計画サマリー

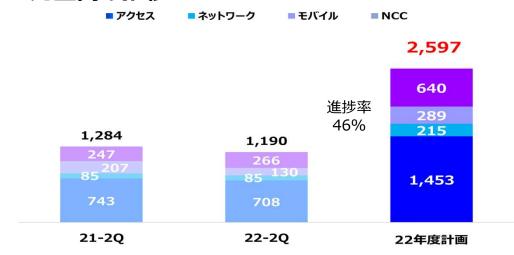
都市インフラ・システムソリューションの成長により受注、売上を確保 成長事業への経営資源シフトや更なる効率化施策により、通期計画達成を目指す

(単位:億円)	2021年度	2022年度	
	実績 A	通期計画 B	前期差 B-A
受注高	5,953	6,000	47
売上高	5,948	6,000	52
営業利益	(7.1%) 423	(6.4%) 385	(▲0.7P) ▲38

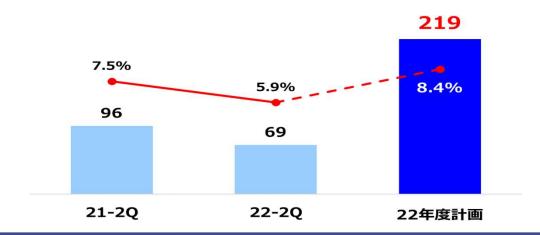
2. セグメント別取り組み

/ (1)通信キャリア





■ セグメント利益の推移



2Q結果と通期見通し

- ・モバイル投資抑制は想定の範囲内
- ・成長事業への人員シフトやDX推進により 利益率向上をめざす

主な取り組み

- ·AIを活用した安全品質、生産性の向上
- ・マルチスキル化、マルチキャリア化による 柔軟な体制の構築
- ・リスキリングによる成長領域への要員シフト

/ (1) 通信キャリア(収益性向上の取り組み例)

AIを活用し、安全品質確保/作業効率化を推進(点検・検査稼働を50%削減)

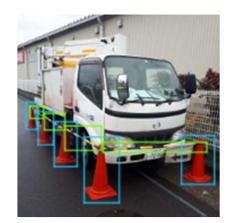
■ 安全AI(施工時)



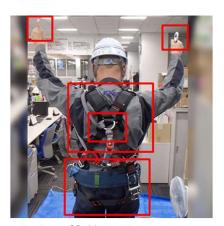


■品質AI(施工後)





バケット車の作業前点検



安全具装着点検



ケーブルほう縛検査

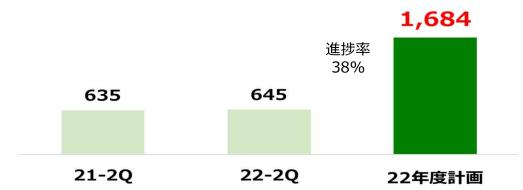


地上高確認

/ (2)都市インフラ







■ セグメント利益の推移



2Q結果と通期見通し

- ・高利益案件 (700MHz対策工事) 減少等により利益進捗に遅れ
- ・通期では大型案件竣工により回復

主な取り組み

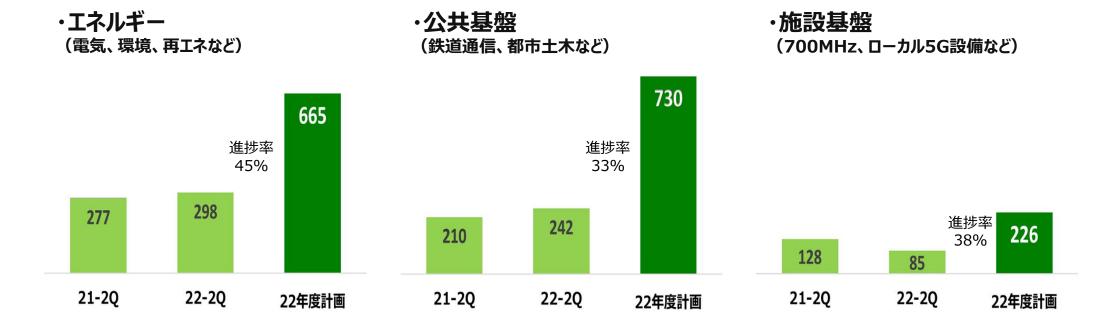
- ・エネルギー事業への本格展開 (再エネ、電力線接続、蓄電池など)
- ·環境分野での大型更改案件へのチャレンジ (下期既に栃木グリーンプラザを落札)
- ・技術者獲得・育成に先行投資 (大学連携プログラム等)

13

/ (2) 都市インフラ (ビジネスユニット別内訳)

■ 売上高の推移

(単位:億円)



/ (2) 都市インフラ(エネルギー)

洋上風力事業参入に向けて技術者育成中。1期生4名、2期生8名がOJT実施中

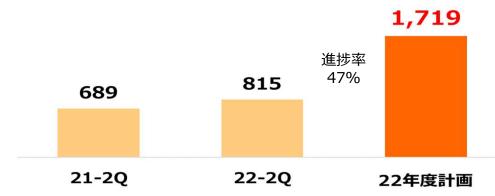


15

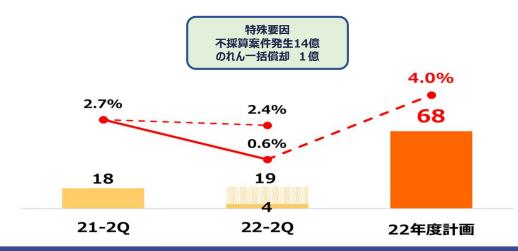
/ (3) システムソリューション

■ 売上高の推移





■ セグメント利益の推移



2Q結果と通期見通し

- ・不採算案件の発生により利益減も、 事業全体は着実に成長
- ・グローバル事業は事業規模をさらに拡大

主な取り組み

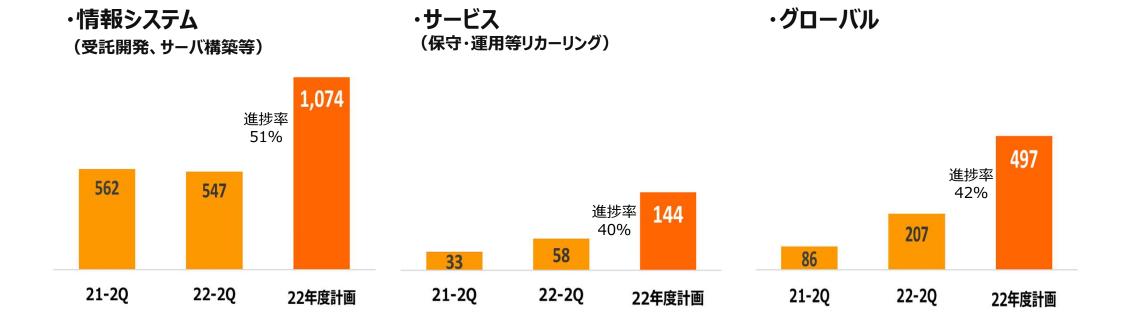
- ·IT2社(EDS,ESM)を核に事業再編 (リカーリング収入拡大へ)
- ・コンサル強化、AIの自社ソリューション化に より高付加価値ビジネスへ
- ·Procurri社のM&Aによりグローバル規模での3R(Reduce,Reuse,Recycle)提供体制拡充

16

/ (3)システムソリューション(ビジネスユニット別内訳)

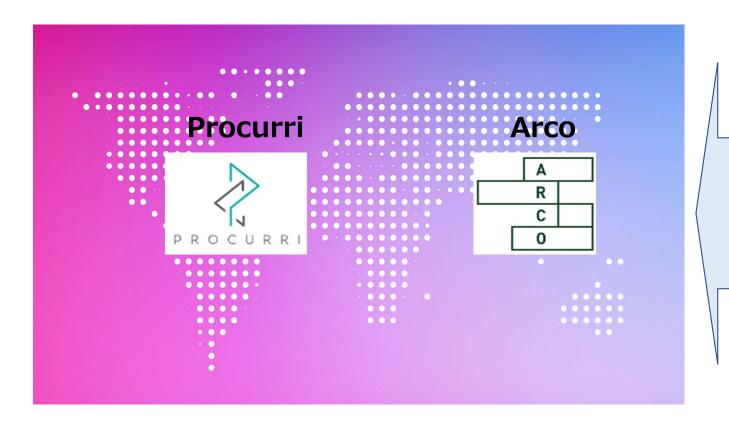
■ 売上高の推移

(単位:億円)



/ (3) システムソリューション (グローバル)

欧米を中心にリファービッシュビジネスを展開するProcurri社をグループ化、グローバルな提供体制を拡充 アジア中心のArco社とのシナジーを最大化するため、リストラクチャリングを推進中



ハードウェア提供を中心にアプリケーション、保守・メンテナンスを含めた、システム導入から廃棄までのライフサイクルマネジメントをトータルでサポート。NWもセットで提供可能。

╱(4)構造改革

効率的な事業運営と事業ポートフォリオの再構築を加速するため、更なる構造改革を実施

上期までの取り組み

通信キャリア

(生産性向上)

- ・キャリア別施工組織の統合 (リソース一体化、柔軟な施工体制)
- ・エリア単位でのグループ会社統合 (北海道、東北、西日本)

都市インフラ

(事業拡大を加速)

- ・全国施工支援、首都圏営業本部の新設
- ・エネルギー関連機能の統合 (再エネ、スマエネ)

システムソリューション

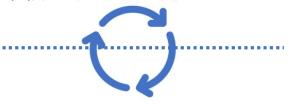
(再編、利益改善)

- ·NI/SI系ソリューション事業本部の統合
- ・IT系組織のグループ再編(中核2社設立) (開発力強化、保守運用サービス拡大)

下期以降の取り組み

・セグメント間での人財交流を加速

(通信キャリア、都市インフラ間での 柔軟なリソースシフト)



・土木系インフラ会社の統合推進 (リソース一体化、柔軟な施工体制)

・グローバル人財の育成 (海外トレイニー派遣開始)

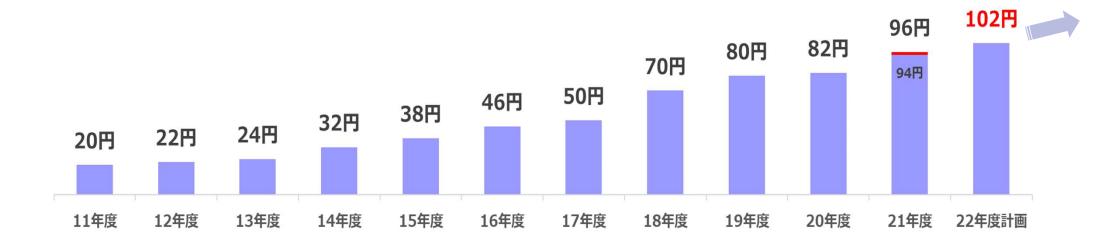
19

3. 株主還元

/ (1) 配当、自己株式取得

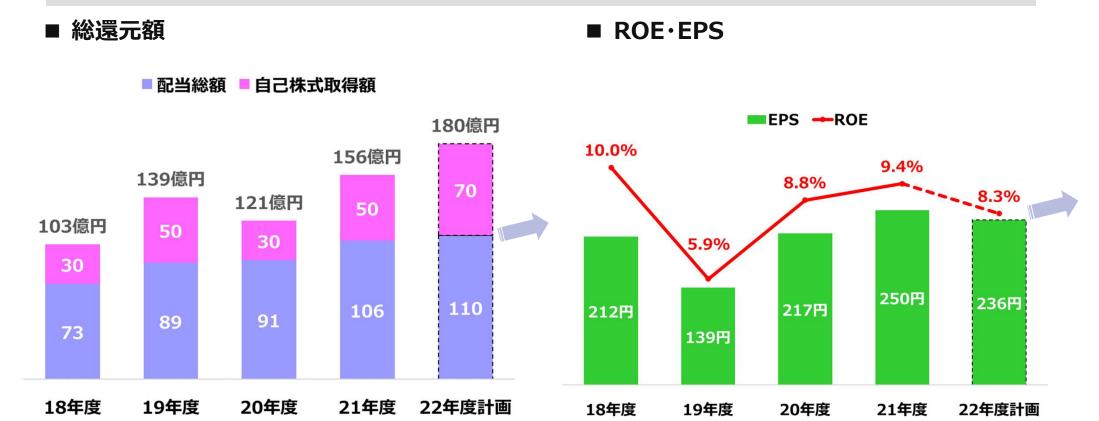
- ·DOE3.5%を基準に 11期連続増配を予定 (中間51円、年間102円)
- ・自己株式取得継続中(昨年度公表済の当期取得分とあわせ70億円)
- ・保有する自己株式のうち700万株を消却予定(発行済株式総数の6.0%)
 - ⇒今後も不要な自己株式は適宜消却

■ 年間配当の推移



/ (2)総還元額、ROE・EPS

継続的な増配と積極的な自己株式取得により株主還元を実施 中期経営計画達成に向けて引き続き資本効率向上に取り組む



4. トピックス

/ (1)技能五輪国際大会で金メダルを獲得 -人財育成の取組み-

技能五輪国際大会(10/15~19:京都市)において、海老原社員が当社通算6個目となる 金メダルを獲得!



国際大会での成績

	開催地	出場選手	成績
第38回 2005年	フィンランド ヘルシンキ	小湊 大輔	金メダル
第39回 2007年	日本静岡	山口 雄基	金メダル
第40回 2009年	カナダ カルガリー	野瀬 茂紘	金メダル
第41回 2011年	イギリス ロンドン	森野 陽気	金メダル
第44回 2017年	アラブ首長国 アブダビ	清水 義晃	金メダル
第46回 2022年	日本 京都	海老原 徹	金メダル

/ (2) 事業を通じての脱炭素社会への貢献

電動バイク用バッテリー交換機の設置・保守について㈱Gachaco*と包括連携

*㈱Gachaco: ENEOS・ホンダ・川崎・スズキ・ヤマハによるバイクシェアリング事業会社



電動バイク等向けのバッテリー交換機 (街中に設置。いつでもバッテリー交換が可能)

EVバイク バッテリーシェアサービス開始式 (2022/10/25)

(株式会社Gachaco提供)



✓ (3) 木質バイオマス発電 ー福島県古殿町、栃木県足利市ー

自社売電事業開始に向け、木質バイオマス発電所2カ所(古殿町、足利市)を建設中地元自治体とも連携し、2024年以降に本格稼働の予定



古殿町バイオマスプラント全景

福島県古殿町のプラントにて実証実験(2022年9月~11月)

タールが発生しない最先端のバイオマスガス化発電

⇒2024年からの本格運用に向けて、 2台目のガス化炉建設へフェーズ移行予定



精製ガスの燃焼

■ 注記事項

本資料に掲載している将来の見通しや業績予想等につきましては、当社が発表日現在において 認識および入手している情報にもとづき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって 予想と大きく異なる場合がありますのでご留意ください。

【お問合せ先】
エクシオグループ株式会社
経営企画部
コーポレート・コミュニケーション室 I R担当
酒井、徳田、牛尾
TEL 03-5778-1073
MAIL exeo.ir@en2.exeo.co.jp

Engineering for Fusion

社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ

